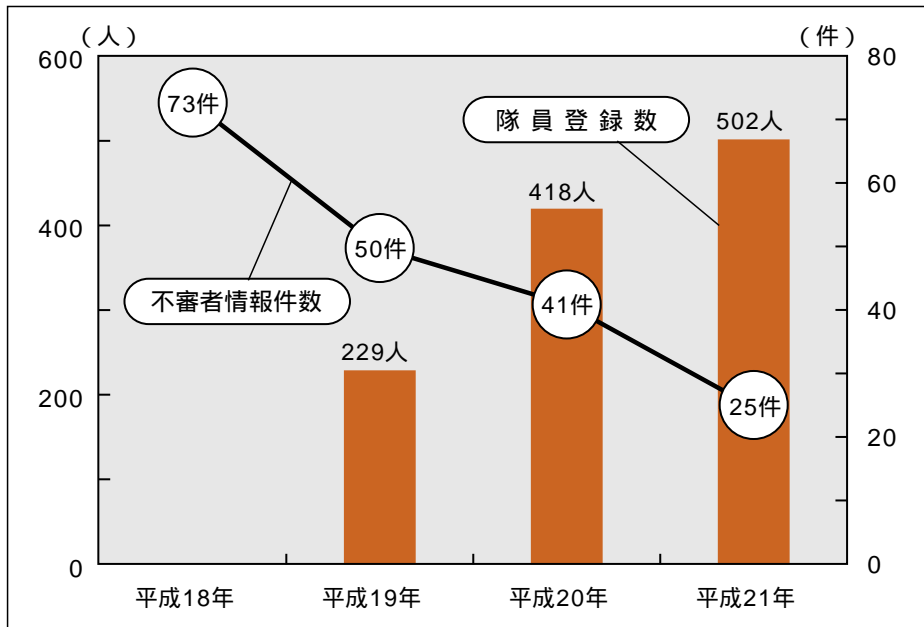




緑色の車体にピンク色のコスモスがグリーンパトロールカーの目印です

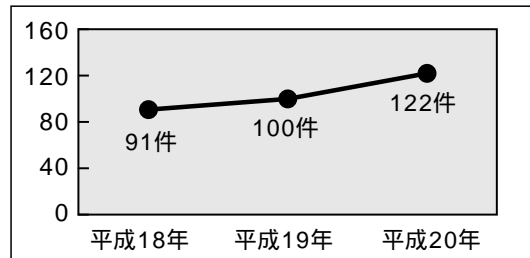
(グラフ1) 市内の不審者情報件数と隊員登録数の推移



平成21年の不審者情報件数は、7月31日現在です

(グラフ2) 香川県内の不審者情報件数の推移

香川県警察本部に通報があり、警察で確認できたもののうち、被害者が中学生以下のもの、単なる「声かけ」から「強制わいせつ」まですべて含みます。(提供：香川県警察本部安全安心まちづくり推進室)



市内の不審者情報件数は約半数に
グリーンパトロール隊が活動をはじめてから、市内の不審者情報件数は大幅に減少しています。

下の(グラフ1)をご覧ください。
発足前の平成18年、1年間の不審者情報件数は73件でしたが、グリーンパトロール隊が発足した平成19年には50件、平成20年には41件と約半数に減少して

います。
特に注目すべきは、グリーンパトロール隊の隊員登録数の増加にもない、不審者情報件数が減少していることです。
毎日市内をくまなくパトロールすることが、地域に不審者がひそむ「かげ」をなくし、お揃いの活動服や目立つ緑色のパトロールカーは、防犯対策に力

を入れている地域を強くアピールできます。いつも誰かが見守っているという地域の目を強化させ、犯罪の抑止効果にもつながっています。
(グラフ2)は、県内全体の不審者情報件数です。増加傾向にある中で、市内では減少傾向にあることは、パトロール活動の成果が現われているといえます。

グリーンパトロール隊の発足
近年、多発する犯罪から子どもたちを守るうとの呼びかけで、平成19年2月に「三豊市安全安心パトロール隊(通称 グリーンパトロール隊)」は発足しました。
これまでも小学校区単位での見守り活動は行われていましたが、合併後の市の一体感をはぐくむためにも、「三豊はひとつ」として市全体で活動する機運が盛り上がってきました。
そこで、各地区で見守り活動をされていた人やPTA活動をされていた



平成19年2月に229人でスタート

隊員は229人から502人に！
平成19年2月19日、市役所前で行われた出発式には、ヤングシルバーを中心とした幅広い年齢層の229人の皆さんが参加しました。
今年6月現在の隊員数は502人にまで増え、子どもたちの安全安心のため、毎日パトロール活動を続けています。
子どもたちの笑顔に出会えることが何よりの楽しみ
午後3時。緑色の帽子とベストを着用、警察署発行のパトロール実施者証

と市発行の名札を持ち、車の青色回転灯をつけて、いざ出発！
活動は生活の負担にならないよう、毎月1回程度、できる人ができる時に当番制で行っています。
これまでに不審者情報が寄せられた場所など町内をくまなく走り、子どもたちを見かけたら「さようなら」「気をつけてな」と一人ひとりに声をかけます。
何より子どもたちの笑顔に出会えることが、隊員の皆さんの励みとなり、やりがいにもつながっています。

た人などが中心となって呼びかけ、発足時から大勢のボランティアの皆さんが集まりました。

子どもの安全守りたい グリーンパトロール隊活動中!!



「なんしょんな」午後3時になると毎日聞こえてくる軽快な音楽とやさしい声。小・中学生の下校時間にあわせて、グリーンパトロール隊の皆さんによる見守り活動が行われています。
発足から2年半、「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い使命感のもと、ますます隊員数を増やして活動を続けるグリーンパトロール隊。日々の活動の積み重ねが、大きな成果につながっています。

グリーンパトロール隊員の皆さんに

インタビュー



のぼる
三宅 昌さん
綾子さん
(仁尾町)

1 人より2人で呼びかけたほうが効果があるのではと思います。2人でパトロール隊を引き受けました。いつも、もう1人の隊員と計3人でパトロールしています。子どもたちと顔見知りになって、普段から声をかけてくれたりします。毎日の見守り活動を通して、お互いの信頼関係が育っていると感じます。



小山英夫さん
(高瀬町)

私 たちの活動がきっかけになり、地域全体に防犯意識を高めてもらうことが目的です。忙しい親世代の代わりに、祖父母世代の私たちが見守ります。無理をせず、お金をかけず、個人の自主性に任せて活動することを方針としています。



ひろし
岩田 決さん
(詫間町)

グ リーンパトロール隊のこと、どのような目的で走っているかなど、もっと皆さんに知ってほしいです。グリーンパトロールが意識づけとなり、ふだんから生活の中で見守り活動に取り組んでもらうことが大切。誰でも隊員になれるので、多くの人に関心を持ってもらい、活動の広がりを目指しています。



関 隆夫さん(左)
前谷 満さん(右)
(三野町)

パ トロールは、通学路を中心に町内くまなく走るようにしています。子どもたちの笑顔に出会えることが何よりの楽しみです。今年も新しい隊員が増え、見守りの輪が広がっていることをうれしく思います。



きょうせい
大西 教聖さん
(山本町)

安 全安心で非行がないように、子どもたちを見かけたら、「さようなら」「元気で頑張るよるか」と、愛のひと声をかけています。子どもたちの笑顔は私のもとの見守り活動は私の生きがいです。



前田 昭文さん
(財田町)

子 どもが1人でぼつんと山道を帰っていると、前後を走ってあげるだけでも効果があると感じています。将来的にはボランティアの参加者が増えて、毎日パトロールができるようになればと思います。



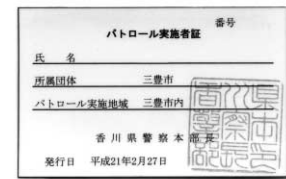
金子 忠弘さん
(豊中町)

私 がグリーンパトロールカーに乗っていることを、子どもが自慢に思っているようで、活動の励みになります。パトロールはいいことですが、大人が車を止めて横断歩道を渡らせるなど、大人たちが過剰に守りすぎることで、子ども自身の危機管理意識が低下するのではと懸念しています。今後、行政とも話し合い、見守りのよりよい形を考えていきたいです。

隊員になるには

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識と、普通免許をお持ちの人なら、どなたでも参加できる活動です。

パトロールカーを運転するために、「安全安心パトロール運転者講習会」を受講する必要があります。受講者には、警察からパトロール実施者証が発行されます。



実施者証がなくてもパトロールカーに同乗することはできません。

関心のある人は、少年育成センターへお問い合わせください。

町名	実動隊員数 (H21.6月末現在)	実施日	運行区域
高瀬町	68人	週5回	校区中心に町全域
山本町	112人	週4回	校区のみ
三野町	34人	週4回	町全域
豊中町	53人	週5回	校区のみ
詫間町	44人	週3~4回	町全域
仁尾町	54人	週2~3回	町全域
財田町	41人	週2回	町全域



富山 直美さん
れんたろう
恋太郎くん
(上高瀬小2年)
かじか
花鹿さん親子

「いつも見守ってくれてありがとうございます！」

子どもたちが家に着くまで、まるで自分たちの孫のように、一人ひとり見守ってくれるので安心です。

親しみを持ってふだんから声をかけてくれ、顔が見えない日があると子どもも心配しています。体に気をつけて、これからもよろしくお願いします。

「地域の皆さんに大きな安心感を」



三豊警察署
生活安全課
西村雅之課長

グリーンパトロール隊の皆さんには、高い防犯意識のもと、平成19年の発足以来現在まで、積極的な防犯安全パトロール活動を行っていただいております。防犯は、発生原因より発生させない環境づくりが大切です。地域の皆さんに大きな安心感を与えていただいているパトロール隊の皆さん、今後とも活発な活動をお願いします。

不審者メール配信サービス

ご存知ですか？

少年育成センターでは、子どもたちの安全を守るために、不審者情報をメールで一斉配信しています。

次のどちらかの方法で、メールアドレスを登録し、知りたい情報を選択すると、携帯電話や家のパソコンでメールを受け取ることができます。

【登録方法】

方法 携帯電話で次のQRコードを読み取り、メニューの「メール配信サービス」から登録



方法 次のメールアドレスに空メールを送信する。
miyoyo1012@kk.8island.jp



不審者情報メール受信画面

問い合わせ
少年育成センター
62・1115

活動の輪が広がって
大きな安全安心へ

グリーンパトロール隊が活動をはじめてから約2年半。市内の不審者情報件数は約半数に減っています。毎日の地道な活動は確かな実を結び、成果は数字となって現れてきています。

さらに、日々の生活の中で見守り活動をされている人、朝晩に農作業をしながら道で出会う子どもたちに「いつてらっしゃい」「おかえり」と声をかけてくれる人など、市内には知らず知らずのうちに見守り活動に参加している大勢の人がいます。子どもたちが毎日安心して通学できるまちは、皆さん自身の手でつくられています。

「継続は力なり」
今日も「なんしょんな」「気いつけてな」の何気ないひと言が交わされ、大きな安全安心を築いています。

